

<肺癌地域連携パスの改訂版の変更点について>

1) 対応

- ① 術後汎用パスは簡略化して運用する。
- ② 現行の術後 UFT パスも同様に簡略化して運用する。
- ③ 上記にあわせて説明同意文書を修正する。

2) 検討内容

- ① 術後汎用パスに関しては、簡略化した連携計画書で運用にすることにした。
- ② 術後 UFT のパスに関しては、肺癌パスの説明同意文書に多くを占める割に進まない現状があり、削除してはどうか、との意見も出されたが、現行の術後 UFT のパスを簡略化して修正のうえ、運用することとした。主たる修正点は「呼吸音の異常」など、記載項目が詳細すぎるので「食欲不振、その他」だけとし、「腫瘍マーカー」の項目も同様に削除した。
- ③ 内科治療のパス（新規）に関して
「イレッサ」と「タルセバ」の新たなパスに関しては、継続審議とする。